



2018 年 8 月 31 日発行

いわて・みやぎ・ふくしま No. 3 8 月号 日本生協連 組合員活動部

No. 3

8 月号

日本生協連
組合員活動部

今年の夏は全国的に、猛暑と台風を繰り返す、不安定な天候が続きました。7月に発生した西日本豪雨から1ヶ月以上が経過し、全国の生協職員が現地での復興支援活動に奮闘しています。不安定な天候はまだ続く様子ですので、安全を期して活動を行っていきましょう。



ふれあいサロン 今月のサロンの様子



7年半が経過した沿岸被災地では、盛り土が進み、高台の住宅地が造成されるなど、新しい街のかたちが見えてきたところもあります。

仮設住宅の集約や閉鎖に伴い、内陸のボランティアによる「ふれあいサロン」の開催はこの9月から、陸前高田を残すのみとなりました。

この7年半、往復3～5時間かけて通ったボランティアのみなさんに感謝するとともに、仮設住宅がなくなるまでは支援を続けます。



大槌町小槌第6仮設住宅「あめちゃん袋作り」

～大槌町 小槌第16仮設住宅～

先月仮設集会所の閉鎖で最後のサロンになったので、今月は近くのお店でランチ会を計画し、お別れ会を開催しました。

2012年2月から始まったサロン活動に、皆さんが感謝の気持ちを色紙に書いて、ボランティアさんに贈っていただきました。

色紙のことばから。「震災から早や7年4ヶ月。あっという間に迎えました。悲しみ、苦しみを乗り越えここまでやってきました。何もかも失った私達に、全国各地からの御支援をいただき、元気を取り戻すことができました」。



感謝の気持ちを込めた色紙です。

医療生協さいたまさんは、2013年8月から大槌のサロンに、毎月5人の組合員や職員が参加して血圧測定や健康チェックをしてくださいました。長い間、ありがとうございました。



ふれあいサロンは、ピーク時には月70会場で開催していましたが、仮設住宅集約や閉鎖に伴い、9月には21会場となり、年度末には13会場となる予定です。各会場の最終回には、お別れ会を実施しています。これまでのご支援に感謝申し上げます。



毛糸のモチーフ作り



カギ針で編んだモチーフ

「内陸でもできる支援活動」として、被災された方にあったかい冬を過ごしてもらおうと始まった「毛糸のモチーフ作り」。いわて生協のボランティア事務局に組合員さんが作ってくださった毛糸のモチーフ（15cm四方）がたくさん集まっ

てきています。

早速、毛糸のモチーフをつなげるボランティアさんが集まり、ひざ掛け用につなげる作業を開始しました。これから何回か集まり「ひざ掛け」を完成させます。毛糸のモチーフは9月末まで募集しています。完成したひざ掛けは、年末屋食会などで被災された方へ配布します。



モチーフをつなげる様子。



福井県民生協のみなさんが宮城を訪れました

7月27日～28日にかけて、福井県民生協から、小学生2名を含む組合員と職員のみなさん計10名が、宮城県を訪れました。

石巻市の大川小学校旧校舎や南三陸町内などを、語り部のお話を聞きながら視察したほか、みやぎ生協震災学習・資料室での学習や、名取市美田園仮設住宅の方々とふれあい喫茶で交流しました。



名取市の仮設住宅で交流

参加された方からは「津波到達地点の文字を見上げたとき、ようやく震災の恐ろしさを感じ取った。他人事だと思わず、行動に移していきたい。本気で『二度と繰り返したくない』と話してくれた被災者の想いを無駄にはしない」「ぜひ被災地に行って欲しいと福井に戻って伝えたい」などの声が寄せられました。



大川小学校旧校舎視察の様子



ふれあい喫茶の活動から

気仙沼市・内の脇住宅（災害公営住宅）にあるコミュニティセンターでのふれあい喫茶。6月28日は、コープこうべのみなさんから頂いたキットを使い、「パンダのポップアップカード」を作りました。キットは貼るだけになっていて簡単につくることができ、「かわいい！」の声が続々と上がっていました。

参加者から「お茶会で知り合った人と話をするようになった」「ここに来て、皆でお茶を飲むのが楽しみ」との声を聞くと、ボランティ



全国の生協から寄せられたメッセージはみんなで回覧。温かい言葉に、笑顔がこぼれます。

アも「お茶会をして良かった」とホッとします。



平成 30 年 7 月豪雨 災害支援を行っています。

- ①「みやぎ生協震災復興・災害支援金等積立金」から、岡山県、広島県、愛媛県の県ボランティアセンターの活動支援として各 50 万円、倉敷市ボランティアセンターの活動支援として 30 万円、計 180 万円をそれぞれの社会福祉協議会へ寄付しました。
- ②メンバー（組合員）と職員で、緊急募金に取り組んでいます。（7 月 11 日～8 月 31 日）



2018 ピースアクション in ヒロシマ 虹のひろば～福島の現状をお知らせしました～

8 月 5 日に、2018 ピースアクション in ヒロシマの虹のひろばが、広島県立体育館グリーンアリーナで開催されました。全国から約 1,200 人が参加する



中、第 2 部の「みんなのひろば」にコープふくしまより 2 名で参加しました。東日本大震災復興ブースで福島の復興についてをパネル展示し、支援の缶バッジ、マグネットの販売と東京電力福島第 2 原子力発電所の即時廃炉を求める署名のお願いをしました。

ピースアクションに参加した高校生を始め多くの方々に訪れていただき、福島の現状をお話することができました。



ふくしま大豆の会 3 年目の畑の学校 ～草取りをしました～

8 月 4 日、晴天。猛暑続きで道端の雑草さえも葉先を枯らし始めているなか、畑の大豆たちは元気にすくすく成長しています。そして大豆畑の草たちも、大豆に負けじと元気です。

親子 5 組を含む 25 人が参加。炎天下で力強く根を張っている草たちと格闘しました。今回は遠く九州の福岡から、エフコープの皆さん 4 人が援農に駆けつけてくださり、一緒に汗を流しました。余りの暑さに作業は 20 分程度で切り上げ、近くの JA さんの会議室をお借りして、畑から抜いてきた大豆の葉や茎、花などの様子を観察しました。



東日本大震災による原発事故後活動を休止していた畑の学校が再開して今年で 3 年目。6 月の種まき、8 月の草取り、11 月に収穫、そして 1 月末に味噌づくりをして、農業と自然の大切さを学びます。



コヨット！保養企画 2 件のご報告。

開催日 2018/6/30（土）-7/1（日） 保養先 山形県 天童温泉 湯坊いちらく
参加者 8 家族 子ども 18 名（内小学生 2）、大人 19 名

1.一日目 わくわくランド

雨模様もありましたが、天童は晴れで気温も高く噴水遊びには絶好でした。遊び前に水分補給、噴水で滑らないことや遊具での注意などをお伝えし、ケガもなく1時間ほど遊びました。

2.二日目 さくらんぼ狩り、JA さがえ西山アグリランド

暑いけど美味しい！



果樹園でさくらんぼ狩りをしました。シーズン最後の佐藤錦でしたが、すごく甘くて「おいしい！」を連発していました。また紅秀峰の樹を1本だけ残してくれていたの食べ比べができました。体温温度は37℃以上。熱波の中なので様子を見ながら30分ほど楽しみました。



噴水が気持ち良い♪

【参加者アンケートから】「なかなか大人一人で子ども3人を安心して遠出などできませんでしたが、コヨットのスタッフの皆様のおかげで今回も安心して楽しませていただく事ができました。放射線の心配もいつもあるため、このコヨットさんの企画がこれからもずっと続いて下さったら嬉しいです。」

開催日 2018/7/7(土) -/8(日) 保養先 福島県 エンゼルフォレスト

参加者 9家族 子ども(小学生限定)15名、大人15名

1.一日目 ジェルキャンドル作り体験、自由時間



ジェルキャンドル作りを、男の子も楽しみました。

2.二日目 フィールドワーク(クイズラリー)

ほぼ時間をいっぱい使って、フィールドワークを行いました。フォレストでも実験的な試みのようでしたが、時間も適当で楽しんでいただけました。

エンゼルフォレストにおいて、今回初めての保養企画でした。



ラリーカードを手に考えます。

内容を振り返ってより良い企画にしていけますが、参加者からは自然体験やドーム型コテージの評価も良かったのではと思います。全体的には、雨天の場合の代替案や外遊びのケガのリスクなどをより万全にしていきたいという振り返りもありました。

【参加者アンケートから】「とてもリフレッシュできました。フィールドワークは、子どもとワクワクしながら体験できました。外での体験がとても良かったです。」

(編集後記) 今夏に初めて、ピースアクション(inヒロシマ・ナガサキ)に参加しました。平和な日常が尊いものであると改めて認識しました。自分の組織内の同僚や、身近な方にも知ってもらい、参加してもらいたいと思いました。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

末永、上田